

## 山形県金融経済概況

### 1. 全体感

山形県の景気は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は、一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移しており、住宅投資は増加している。

生産は一進一退の動きとなっている。雇用・所得環境は改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は保合いとなっている。

### 2. 需要項目別の動向

#### (1) 公共投資 …… 持ち直し

8月の公共工事請負金額は、独立行政法人等の発注は減少したものの、国、県、市町村などが増加したため、全体では3か月ぶりに前年を上回った（前年比+49.2%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2015年 10~12月	2016年 1~3	4~6	2016年 6月	7	8
山形県	▲53.9	▲44.6	+12.1	▲0.3	▲27.3	+49.2

〈資料〉 東日本建設業保証(株)等の「公共工事前払金保証統計」より作成

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

#### (2) 設備投資 …… 増加

7月の建築着工床面積（民間非居住用）は、医療・福祉、教育などは減少したものの、製造業、農林水産などが増加したため、全体では7か月連続で前年の水準を上回った（前年比+3.0倍）。6月短観における2016年度の設備投資計画（全産業）は、製造業で上方修正され、前年を上回る計画となった（前年度比+26.5%＜前回調査比修正率+0.5%＞）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2015年 10~12月	2016年 1~3	4~6	2016年 5月	6	7
山形県	▲25.8	+66.0	+86.8	+27.2	+2.7倍	+3.0倍

〈資料〉国土交通省「建築物着工統計」より作成

(図表3) 県内企業の設備投資額（2016年6月山形短観） 前年度比、%

山形県	2014年度（実績）	2015年度（実績）	2016年度（計画）
全産業	+19.7	▲9.8 〈▲3.0〉	+26.5〈+0.5〉
製造業	+37.0	▲22.3 〈▲1.0〉	+45.1〈+12.2〉
非製造業	▲2.0	+12.1 〈▲5.3〉	+4.0〈▲14.6〉

〈資料〉日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

### (3) 個人消費 …… 一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移

7月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、飲食料品などが前年を上回ったことから、全体では2か月連続で前年の水準を上回った（前年比+4.4%）。

家電販売は、季節家電、パソコン等を中心に弱めの動きとなっている。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2015年 10~12月	2016年 1~3	4~6	2016年 5月	6	7
全店	▲2.2	+1.6	+0.2	▲0.5	+0.4	+4.2
既存店	▲2.7	+1.2	+0.3	▲0.4	+0.5	+4.4

<資料>経済産業省

8月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、3か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比+8.7%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2015年 10~12月	2016年 1~3	4~6	2016年 6月	7	8
乗用車 (含む軽)	▲6.7	▲7.4	+1.2	▲2.4	▲1.8	+8.7
乗用車 (除く軽)	+2.3	▲3.5	+15.0	+10.3	▲0.2	+10.3

<資料>東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

### (4) 住宅投資 …… 増加

7月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲とも増加したため、全体では4か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比+26.8%）。地域別には、酒田、東根などは減少したものの、山形、鶴岡などは増加した。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2015年 10~12月末	2016年 1~3	4~6	2016年 5月	6	7
山形県	+12.6	+6.0	▲6.1	▲10.2	▲6.1	+26.8
持家	▲9.3	▲25.9	▲9.2	▲7.0	▲9.2	+20.4
貸家	+25.6	+2.2倍	+34.1	▲35.3	+34.1	+23.6
分譲	+72.0	+88.0	▲45.7	+14.3	▲45.7	+2.0倍

着工戸数の多い市：山形市+2.4倍、鶴岡市+55.8%、米沢市+3.9%、酒田市▲31.9%、東根市▲14.8%

<資料>国土交通省「住宅着工統計」より作成

### 3. 生産 . . . 一進一退

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、4か月ぶりに低下した（前月比▲0.7%）。業種別には、輸送機械、食料品など14業種は上昇したものの、家具、化学など8業種は低下した。

6月の在庫指数（季節調整済）は、2か月ぶりに低下した（前月比▲2.8%）。

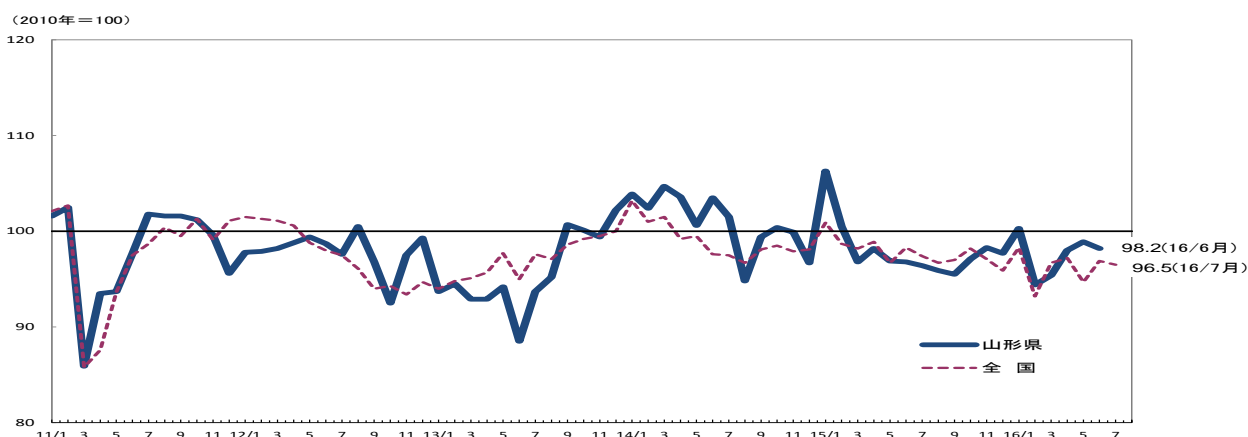
（図表7） 鉱工業指数

2010年基準

山形県		2015年 10～12月	2016年 1～3	4～6	2016年 4月	5	6
生 産	季節調整済前月・期比%	+1.9	▲1.0	p +1.8	+2.7	+0.9	p ▲0.7
	原指数前年比%	▲1.4	▲3.6	p +0.7	▲1.1	+3.0	p +0.5
在 庫	季節調整済前月・期比%	+0.9	▲0.3	p ▲4.0	▲4.3	+2.3	p ▲2.8
	原指数前年比%	+1.9	+3.2	p ▲0.8	▲0.8	+1.9	p ▲3.3

＜資料＞ 山形県企画振興部「山形県鉱工業指数」より作成

（図表8） 鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



＜資料＞経済産業省「鉱工業指数」、山形県企画振興部「山形県鉱工業指数」より作成

### 4. 雇用・所得環境 . . . 改善

7月の有効求人倍率は、1.30倍となった。業種別には、サービスの新規求人は増加したものの、製造業、卸・小売などは減少した。7月の雇用保険受給者は、3か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲10.9%）。

（図表9） 雇用関係指標（その1）

倍、%、<>内は前年比

山形県	2015年 10～12月	2016年 1～3	4～6	2016年 5月	6	7
有効求人倍率	1.20	1.24	1.33	1.34	1.29	1.30
有効求職者数	<▲1.9>	<▲3.1>	<▲6.0>	<▲4.1>	<▲6.0>	<▲8.3>
有効求人数	<▲6.2>	<+3.7>	<+1.0>	<+5.6>	<+1.0>	<▲1.3>
完全失業率	2.2	3.0	2.8	—	—	—
雇用保険受給者	<▲7.6>	<▲2.3>	<▲5.6>	<▲3.7>	<▲5.6>	<▲10.9>

＜資料＞厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

6月の常用雇用指数は、概ね前年並みの水準となった（前年比▲0.2%）。業種別には、運輸、医療・福祉などは前年の水準を上回ったものの、建設、製造業などは前年の水準を下回った。

6月の所定外労働時間は、3か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比+3.9%）。業種別には、卸・小売、建設などは前年の水準を下回ったものの、不動産、運輸、情報通信などは前年の水準を上回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2015年 10~12月末	2016年 1~3	4~6	2016年 4月	5	6
常用雇用指数	+1.9	+0.5	▲0.2	0.0	0.0	▲0.2
所定外労働時間	▲3.5	+1.9	+3.9	▲0.9	▲1.0	+3.9

<資料>山形県企画振興部

6月の現金給与総額（名目賃金指数）は、製造業、卸・小売などは減少したものの、建設、サービスなどは増加したため、3か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比+0.7%）。

6月のきまって支給する給与は、12か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲1.6%）。

(図表 11) 所得関係指標 2010年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2015年 10~12月末	2016年 1~3	4~6	2016年 4月	5	6
現金給与総額 (名目賃金指数)	▲5.5	+0.2	+0.7	▲3.0	▲1.5	+0.7
きまって支給 する給与	▲3.3	▲0.4	▲1.6	▲1.5	▲1.7	▲1.6

<資料>山形県企画振興部

## 5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

8月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数（5件）では前年（2件）を上回ったものの、負債総額（4.3億円）は前年（5.2億円）を下回った。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2015年 10~12月	2016年 1~3	4~6	2016年 6月	7	8
件数	11	17	14	4	2	5
負債総額	61.2	27.4	26.6	3.8	1.4	4.3

<資料>(株)東京商エリサーチ山形支店「山形県企業倒産状況」より作成

## 6. 物価・・・保合い

7月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、低下した(前年比▲0.6%)。費目の内訳をみると、生鮮食品を除く食料、被服及び履物などは上昇したものの、光熱・水道、交通・通信などは下落した。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2015年 10～12月末	2016年 1～3	4～6	2016年 5月	6	7
総合	+0.2	r ▲0.5	▲0.6	r ▲1.0	▲0.6	▲0.4
生鮮食品を除く総合	+0.2	r ▲0.6	▲0.5	r ▲0.8	▲0.5	▲0.6

<資料>山形県企画振興部

(注) 2015年以前は2010年基準の前年比を掲載。

## 7. 金融

7月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金や個人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比+1.4%)。

7月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比+3.6%)。

この間、7月の貸出金利は低下した(前月比▲0.005%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出、貸出約定平均金利

%, %ポイント

山形県	2015年 10～12月	2016年 1～3	4～6	2016年 5月	6	7
実質預金+CD (末残前年比)	+2.8	+1.3	+1.2	+1.1	+1.2	+1.4
貸出 (末残前年比)	+2.7	+3.6	+3.6	+3.5	+3.6	+3.6
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.026	▲0.028	▲0.038	▲0.015	▲0.008	▲0.005

7月末水準  
1.127

<資料> 日本銀行山形事務所<対象等は(参考)山形県内主要金融経済指標注記<7頁>参照>

以上

(内容に関するお問い合わせ先)  
日本銀行山形事務所  
TEL: 023-622-4004  
FAX: 023-627-1171